



# 開知

令和7年3月6日号

佐世保市立世知原小学校  
校長 兼 正晴

## 三者面談



中学校最後の三者面談、志望校決定  
担任の先生の言葉が忘れられない。

「落ちても、誰も慰めないよ、お父さん、お母さん、お婆さん  
誰も慰めません。それでも、志望校は変えませんか？」

もちろん、返事は「はい。」

第二志望校として、私立高校を選択した。

あそこまで言われて、なぜ「はい」と返事できたのか。

今でも、分からない。自信ではなく、上をめざしたかったのかなと思う。  
少なくとも担任の先生は、覚悟を確かめたかったのであろう。

凜として 旅立つ 一朵(いちだ)の雲をめざし・・・ 坂の上の雲、「スタンドアローン」より

## ☆☆☆☆世知原小アレコレ、「卒業俳句」について☆☆☆☆

昭和60年頃の卒業式においては、卒業生全員一人一人の「俳句発表」が行われていました。俳句と言うより、思い出発表のような感じもしましたが、その子ならではの俳句ばかりでした。当時の卒業生は、80名ぐらいでしたが、それぞれに違いがあり、聴いていて、その子の姿が目には浮かびました。

当時、小学校卒業式における「別れの言葉」は、送辞と答辞をまとめ、全校児童で呼びかけ形式で行っていました。その中に、個人発表を加えるのは珍しいことだったと思います。

卒業生が「別れの言葉」のアナウンスと同時に、座席椅子を回転させる練習をくり返し行いました。「音を立てずに、同じ方向で、素早く椅子を回し、移動する」、簡単なことですが、なかなか揃いません。

令和を迎え、現在は俳句と共に短作文を発表しています。これも、世知原小伝統の取組です。卒業生にとりまして、最後の学習です。自分の思いを思い切り伝えて欲しいと思います。

### 昭和63年度卒業生俳句作品

小体連 最後がんばり 入賞だ  
運動会 気が入った エッサッサ  
さようなら くもりガラスに 書き残す  
昼休み ぼくが遊んだ 運動場  
卒業で 涙と共に 桜散る  
澄み渡る 大空の下 かけていく  
卒業の 喜びあふれ 涙ぐむ  
受け継いだ 浮立や鼓笛 後輩へ

## 新1年生がやってきた

2月20日(木)1年生が保育園生と合同学習会を行いました。その中で、新1年生に1年生が鉛筆の動かし方や名前の文字を教える活動がありました。鉛筆を動かし、ひらがなでしっかりとした文字を書こうと、保育園生も頑張っていました。1年生も先輩気分で、優しく教えていました。すっかり2年生気分のような様子でした。1年生の1年間のがんばりがよくわかる活動でした。来年度が楽しみです。



## 校旗委譲式、お別れ集会



2月28日(金)5校時にお別れ集会を行いました。お別れ集会は、5年生を中心に、6年生の卒業をお祝いする集会です。1・2年生はダンス、3年生はリコーダーアンサンブルと替え歌、4年生は文字並び替えクイズ、5年生は劇を行いました。どの出し物にも6年生の卒業をお祝いし、ありがとうの心が込められており、6年生にしっかりと伝えることができました。

6年生は、「我が心のふるさと」の歌と鍵盤ハーモニカの演奏でした。6年生の子供たちが肩を組んで歌う姿には大きな成長を感じました。また、みんなで創立150周年事業の成功と、在校生の協力へのお礼を述べたときには、ジーンとくるものがありました。

1年生からのプレゼントをいただくときに、1年生を抱きしめる6年生もいました。この1年間の6年生のがんばった姿が見えたような気がしました。

最後の退場場面では、涙ぐむ子供たちの姿があり、世知原小学校は本当に良い学校だと思えた瞬間でした。学年それぞれの子供たちの成長が見られ、来年度につながる一歩を踏み出したようです。



## 朝の交通安全指導

今年度も朝の交通安全指導として、4名の地域の皆様にご協力をいただいております。登校する子供たちとも顔なじみになり、挨拶だけでなく、一声かけて、励ましていただいております。中には「ってきます。」と元気に返答する子もいます。

この度、小学校坂下担当の交通安全指導員、〇〇さんは今年度をもって引退されることとなりました。また、前田製茶前担当の世知原警察官駐在所、巡查部長、〇〇さんは定期異動で世知原を離れます。お二人にも、たくさんの子供たちの登校を支えていただきました。ありがとうございました。

なお、交通安全指導員を希望される方がおられましたら、学校までご連絡ください。

